

感染症定期報告感染症別文献一覧表(再生医療等製品 2019/4/1～2019/9/30)

ID	感染症(PT)	出典	概要
1	ダニ媒介熱	PHE Infectious disease surveillance and monitoring for animal and human health: summary May 2019	2017年、中国におけるダニ媒介性疾患のサーベイランスにより、原因不明の熱性疾患で内モンゴルの病院を受診した患者1例が同定された。臨床症状はダニ媒介性脳炎ウイルス(TBEV)感染症の臨床症状と類似していたが、TBEV RNAも抗ウイルス抗体も検出されなかった。初発患者から血液検体を採取し、ゲノム配列解析と電子顕微鏡法を用いて原因病原体の分離・同定を試みたところ、初発患者は未知の分節 RNA ウイルスに感染していたことが明らかになった。当該ウイルスはフラビウイルス科 jingmenvirus 属に属し、Alongshan ウイルスと命名された。
2	ダニ媒介熱	ProMED-mail 20190530.6493915	2017年、中国におけるダニ媒介性疾患のサーベイランスにより、原因不明の熱性疾患で内モンゴルの病院を受診した患者1例が同定された。臨床症状はTBEV感染症の臨床症状と類似していたが、TBEV RNAも抗ウイルス抗体も検出されなかった。初発患者から血液検体を採取し、ゲノム配列解析と電子顕微鏡法を用いて原因病原体の分離・同定を試みたところ、初発患者は未知の分節 RNA ウイルスに感染していたことが明らかになった。当該ウイルスはフラビウイルス科 jingmenvirus 属に属し、Alongshan ウイルスと命名された。
3	ウイルス感染	N Engl J Med. 380(2019)2116-2125	2017年、中国におけるダニ媒介性疾患のサーベイランスにより、原因不明の熱性疾患で内モンゴルの病院を受診した患者1例が同定された。臨床症状はTBEV感染症の臨床症状と類似していたが、TBEV RNAも抗ウイルス抗体も検出されなかった。初発患者から血液検体を採取し、ゲノム配列解析と電子顕微鏡法を用いて原因病原体の分離・同定を試みたところ、初発患者は未知の分節 RNA ウイルスに感染していたことが明らかになった。当該ウイルスはフラビウイルス科 jingmenvirus 属に属し、Alongshan ウイルスと命名された。
4	東部ウマ脳炎	PHEホームページ https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/755301/Emerging_infections_summary_October_2018.pdf	固形臓器移植を介した東部馬脳炎ウイルス(EEEV)感染症の初めての伝播が米国で報告された。心臓、肝臓及び肺のレシipient3例は、移植から1週間以内に脳炎を発現し、全例でEEEV感染が確認された。ドナーの血清の遡及的検査により、臓器採取から24時間以内の血清中にEEEV RNAが検出されたが、IgMは検出されず、病院への入院直前か直後のいずれかにウイルスに感染したことが示唆される。
5	炭疽	ProMED-mail 20190211.6310772	オーストラリアNyngan付近の所有地において炭疽中毒によりヒツジが少なくとも350頭死亡した。New South Wales Department of Primary Industriesは、多数の家畜が死亡した後にCentral Westの所有地においてバイオセキュリティ対策が講じられていたことを確認した。本件は、クイーンズランド州南部での大規模なアウトブレイクの発生後に生じた。2017年3月には土壌攪乱を原因としてウシ120頭が死亡、2017年10月～2018年1月には散発的に30頭が死亡した。2013年には、Moree付近の所有地2カ所においてウシ数十頭が死亡した。